

開校 100 年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—

2020年4月11日(土)～5月31日(日)

概要

1919年、ドイツの古都ヴァイマルに、建築家ヴァルター・グロピウスにより造形学校「バウハウス」が創設されました。実験精神に満ち溢れたこの学校は、造形教育に革新をもたらし、今日にいたるまでアートとデザインに大きな影響を及ぼしています。2019年にバウハウスは開校100年を迎えました。

バウハウスでは、ヴァシリー・カンディンスキー、パウル・クレーなど時代を代表する芸術家たちが教師として指導にあたり、優れたデザイナーや建築家が育ち、時代を切り開くプロダクトデザインやグラフィックデザインが生まれました。とりわけ、入学した学生が最初に受ける基礎教育で教師たちが試みた授業はユニークなものでした。

本展覧会では、学校としてのバウハウスに焦点をあてます。基礎教育で教師たちが試みた授業を中心に、各教師の授業内容を紹介するとともに、その一端を体験していただくコーナーを設けます。さらに、基礎教育を終了したのちに進む様々な工房(金属、陶器、織物、家具、印刷・広告、舞台、建築など)での教育の成果や資料など約300点を展示します。また、当時、実際にバウハウスに入学した日本人留学生、水谷武彦、山脇巖、山脇道子、大野玉枝の4人の作品・資料を一堂に集めて紹介し、バウハウスと日本のつながりをご覧ください。

皆さんも、歴史に燦然と輝くバウハウスに、体験入学してみませんか！

本展覧会のみどころ

◎バウハウス 100 年を祝う

昨年2019年がバウハウス開校100年にあたることから企画された展覧会です。昨年から今年にかけては、世界各地でバウハウス開校100周年を記念した展覧会やトークイベント、映画祭の開催、関連する本や雑誌の発行、商品やグッズが発売されるなど祝祭ムードが高まっています。

◎バウハウスの授業を体験する

バウハウスに入学した学生が最初に受ける基礎教育で各講師たちが試みた授業はユニークなものでした。ヴァシリー・カンディンスキーやパウル・クレーといった教師たちはどのような授業をしていたのでしょうか。本展では、基礎教育で各教師たちが行ったユニークな授業内容を紹介するとともに、その授業の一端を体験していただくことができます。

◎バウハウスの成果を見る

学生たちが基礎教育の後に進んだ各専門課程での教育の豊かな成果を、日本国内所蔵の多彩な作品をご覧ください。

◎バウハウスと日本とのつながりを知る

日本からバウハウスに留学した水谷武彦、山脇巖、山脇道子、大野玉枝の4人の留学生2による作品と、彼らに関する資料を一堂に集めて紹介する初めての機会であり、バウハウスと日本のつながりを知ることができます。

基本情報

展覧会名 開校 100 年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—

会 期 令和2(2020)年4月11日(土)～5月31日(日)

会 場 静岡県立美術館 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田53-2

交通案内

- ・JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分。
- ・JR「静岡駅」南口からタクシーで約 20 分、または静鉄バスで約 30 分。
- ・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約 15 分、または静鉄バスで約 20 分。
- ・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約 15 分、または静鉄バスで約3分。
- ・東名高速道路・静岡 IC、清水 IC から車で約 25 分。日本平久能山スマート IC から車で約 15 分
または新東名高速道路・新静岡 IC から車で約 25 分。

開館時間 午前 10 時～午後5時 30 分(展示室への入室は午後5時まで)

休 館 日 毎週月曜日(ただし、5月4日[月・祝]は開館)

観 覧 料 一般1,000円(800円)、70歳以上500円(400円)、大学生以下は無料。
※()内は前売及び20名以上の団体料金 ※ロダン館・収蔵品展も併せてご覧いただけます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

主 催 静岡県立美術館、テレビ静岡、バウハウス 100 周年委員会

後 援 ドイツ連邦共和国大使館、スイス大使館、ハンガリー大使館、一般社団法人 日本建築学会

特別協力 ミサワホーム株式会社、東京国立近代美術館

協 力 専門学校 桑沢デザイン研究所、大阪芸術大学、株式会社 アトリエ ニキティキ

協 賛 アウディ ジャパン株式会社、株式会社インターオフィス

企画協力 株式会社アートインプレッション、株式会社ミサワホーム総合研究所

会期中イベント

講演会「試験に出ないバウハウス」

日時:4月12日(日)14:00～15:30(開場 13:30)

講師: 杉田佳穂氏(ミサワバウハウスコレクション学芸員、本展覧会監修者)

会場: 当館 講堂

聴講無料・申込不要先着順(定員 250 名)

「バウハウスのモホイ＝ナジ:構成主義の視覚芸術」

日時:4月29日(水・祝)14:00～15:30(開場 13:30)

講師: 井口壽乃氏(埼玉大学人文社会科学部研究科・教授)

会場: 当館 講堂

聴講無料・申込不要先着順(定員 250 名)

講演会「ドライビング BAUHAUS」

日時:5月10日(日)14:00～15:30(開場 13:30)

講師: 深川雅文氏(キュレーター/クリティック、本展覧会監修者)

会場: 当館 講堂

聴講無料・申込不要先着順(定員 250 名)

館長美術講座「バウハウスが建築の世界にもたらしたもの」

日時:5月24日(日)14:00～15:30

講師: 木下直之(当館館長)

会場: 当館講座室

聴講無料・申込不要先着順(定員 40 名程度)

フロアレクチャー 4月19日(日)14:00～ 40分程度

集合場所: 企画展第1展示室

展覧会担当学芸員が展示室にて解説を行います。申込不要、観覧料が必要です。

小学生のための展覧会ツアー

5月3日(日)11:00～、14:00～ 各回 40分程度

対象: 小学生／※小学3年生以下は保護者同伴でご参加下さい／保護者は観覧料が必要です。

定員: 各回 20組程度

要申込。静岡県立美術館 HP よりお申し込みください。

集合場所: 企画展第1展示室

子どもとファミリーのための展覧会ツアー

5月5日(火・祝)10:30～、14:00～ 各回 40分程度

対象: 3歳～就学前のお子さんと保護者／保護者は観覧料が必要です。

定員: 各回 20組程度

要申込。静岡県立美術館 HP よりお申し込みください。

集合場所: 企画展第1展示室

静岡シネギャラリー バウハウス 100 年映画祭のご案内

静岡シネギャラリーでは、本展会期中の5月9日～22日に、バウハウスに関連した下記ドキュメンタリー作品6本を厳選して上映する「バウハウス 100 年映画祭」が開催されます。詳細は静岡シネギャラリーホームページ (<http://www.cine-gallery.jp/>) をご覧ください。

プログラム A 『バウハウス 原形と神話』

プログラム B 『バウハウス・スピリット』、『バウハウスの女性たち』

プログラム C 『ミス・オン・シーン』、『ファグスーグロピウスと近代建築の胎動』

プログラム D 『マックス・ビルー絶対的な視点』

【このプレスリリースに関する問い合わせ先】

静岡県立美術館 担当：学芸課 川谷 承子、総務課 小澤宏明

住所 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田53-2

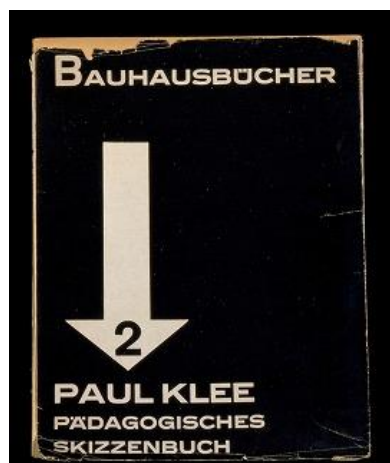
TEL 054-263-5857 FAX 054-263-5742

E-Mail webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

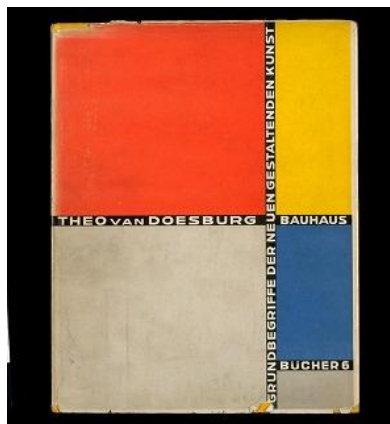


1. ヨゼフ・ハルトヴィツヒ

《チェス・セット》 1924年頃 ミサワホーム株式会社蔵



2. パウル・クレー 『教育スケッチブック』バウハウス叢書2巻
1925年 ミサワホーム株式会社蔵



3. テオ・ファン・ドゥースブルフ
『新造形芸術の基本概念』バウハウス叢書6巻
1925年 ミサワホーム株式会社



4. 編集：W. グロピウス、L. モホイ＝ナジ

機関誌『バウハウス』第1巻第1号 1926年

ミサワホーム株式会社蔵



5. マルセル・ブロイヤー

《クラブ・アームチェア B3 (ヴァシリー)》

1925年 (デザイン)、

1928-29年頃 (製造、スタンダードメーベル社)

ミサワホーム株式会社蔵



6. マルセル・ブロイヤー

ネスト・テーブル B9-B9c

1929年 東京国立近代美術館蔵



7. ラースロー・モホイ=ナジ

『材料から建築へ』バウハウス叢書 14 巻

1929年

ミサワホーム株式会社蔵



8. 撮影者不詳 学生たち（アトリエのバルコニー）

1932年頃

ミサワホーム株式会社



9. 撮影者不詳

製図の授業（ロッテ・ベーゼ）

制作年不詳 ミサワホーム株式会社蔵



10. 山脇道子

みちこ・ておりき 購入案内

1934年頃 武蔵野美術大学 美術館・図書館

©Yamawaki Iwao & Michiko Archives, 2020



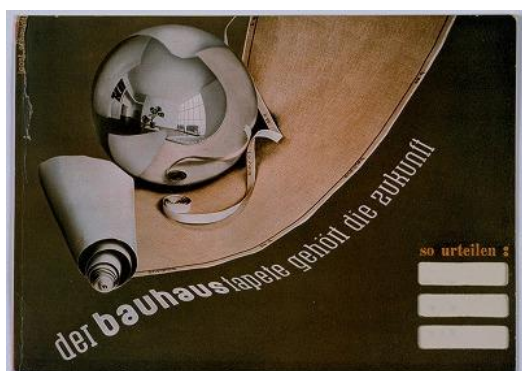
1 1. 藤田 巖

工場地に建つ演劇研究所 卒業制作

1926年

東京藝術大学蔵

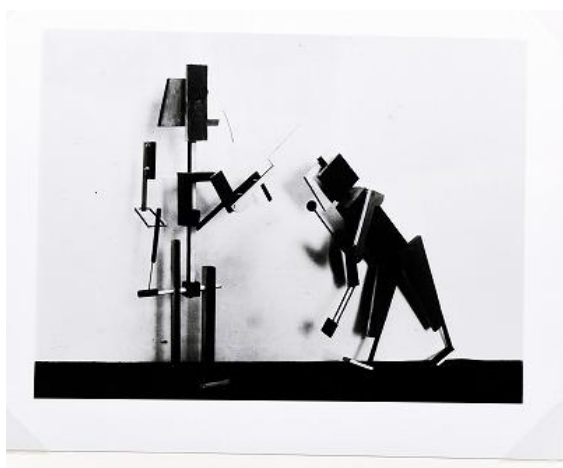
©Yamawaki Iwao & Michiko Archives, 2020



1 2. ヨースト・シュミット

ラッシュ社壁紙カタログ表紙「未来はバウハウス壁紙のもの」1931年

ミサワホーム株式会社



1 3. 撮影者不詳 クルト・シュミット作

マリオネット劇「小さなせむし男の冒険」医者と召使い 1924年頃

ミサワホーム株式会社

開校100年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—

宛先：静岡県立美術館 (広報担当) 学芸課 川谷、総務課 小澤 宛
E-mail : webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

■ 本票に必要事項をご記入のうえ、上記メールアドレス宛に本票を添付してお申し込みください。

【画像ご使用に際してのお願い】

- *画像データはメールにてお送りします。
- *画像は本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- *使用後のデータは破棄していただきますようお願いいたします。
- *画像への文字載せ、トリミングはできません。
- *クレジットを必ず明記してください。
- *基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- *掲載後、広報担当者まで見本紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願いいたします。

貴社名： _____ 媒体名： _____
ご担当者名： _____ 発行・放送予定日： _____
TEL： _____ 発行部数： _____
FAX： _____ 定価： _____
E-mail： _____ 掲載予定コーナー名等： _____
連絡欄： _____

- ◎ 本展を紹介してくださる媒体には、展覧会の招待券
(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。
ご希望の方は下記にご記入ください。
読者プレゼント用招待券を 【 希望する ・ しない 】

【チケット送付先】

ご住所：〒

<広報用画像に関する問い合わせ先>

静岡県立美術館

学芸課:054-263-5857

広報担当: (学芸課)川谷、(総務課)小澤